

いわない 社協だより

岩内町社会福祉協議会

第
82
号

社会福祉法人
岩内町社会福祉協議会

〒045-0022

岩内郡岩内町字清住167

岩内町老人福祉センター内

TEL 0135-62-3328

FAX 0135-62-3859

令和5年12月1日



4年ぶりに赤い羽根共同募金助成金による全ての事業を開催できました！

岩内町社協では皆様からご協力いただいた赤い羽根共同募金の助成金を財源に年1回発行している広報誌「いわない社協だより」や「社協会長杯ふれあいパークゴルフ大会」等、様々な事業を展開しておりますが、令和2年より新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部の事業が中止または制限をかけての開催を余儀なくされる状態が続いておりました。

しかしながら、今年の5月8日より新型コロナウイルスについては第5類に移行したことから4年ぶりに「高齢者ふれあい昼食会」及び「男の料理教室」を開催することができました。

「高齢者ふれあい昼食会」は年2回会場の広さや一度に作れるお弁当の数の関係上、岩内町を8～9の地域に分け順番に開催しており、1回目は6月21日に働く婦人の家にて高台・万代地区の昨年度町の敬老会参加対象者、2回目は9月27日に西宮園集会所において西宮園地区の本年度の敬老会対象者に地域の民生委員さんの呼びかけでご案内し開催することができました。なお当日は食事前に岩内警察署刑事・生活安全課のご協力にて特殊詐欺被害についての講話、岩内町地域包括支援センターのご協力により当センターの紹介や健康体操を行った後、岩内町食生活改善協議会の美味しい手作り弁当を参加者全員で頂きました。

また「男の料理教室」においては10月18日岩内地方文化センターにて岩内町食生活改善協議会の役員を講師に招き開催。当日は慣れない手つきで「酢鶏」「きのこたっぷり味噌汁」「小松菜サラダ」がやっとのことで無事完成。参加者より「自分で作ったご飯はおいしいなあ～」といった声があちこちから聞こえてきました。

令和4年度事業報告

○理事会 4回開催（6月、9月、12月、3月）

○評議員会 2回開催（6月、3月）

○小地域福祉活動事業

- ・8町内会（合計749世帯）において、高齢者見守り福祉カードの作成（156世帯）及び定期的な声掛け・見守り活動（84世帯）を行いました。各町内会単位で定めた見守りが必要と思われる世帯に対し見守りカードの作成、そのうち定期的な声掛けや見守りを希望された方に対し、安否確認を兼ねた声掛け訪問などを町内会単位で実施していただきました。（年間延べ1,306回実施）

○介護保険サービス

- ・訪問介護事業 月平均188名利用（年間延べ15,341回のヘルパー訪問）
- ・居宅介護支援事業 月平均 65名利用（介護サービス計画《ケアプラン》の作成）
- ・福祉用具貸与事業 月平均 28名利用（電動ベッド、車椅子、歩行器、手すり、スロープ等の貸与）

○障害福祉サービス

- ・居宅介護事業 月平均7名利用（年間延べ337回のヘルパー訪問）
- ・重度訪問介護事業 月平均1名利用（年間延べ46回のヘルパー訪問）

○受託事業

- ・生活支援指導訪問事業 利用者2名（年間延べ17回の訪問）
- ・訪問給食サービス事業 月平均54名利用（年間延べ10,669食配送）
- ・手話奉仕員養成講座（岩宇4町村） 受講生6名（手話奉仕員養成講座「基礎課程」実施）
- ・日常生活自立支援事業 利用者4名（年間延べ53回の訪問及び267回の電話相談）
- ・電話サービス事業 緊急通報システム利用者に対し毎月1回電話による安否確認（月平均60名に対し年間延べ722回実施）
- ・生活支援コーディネーターの配置 現任職員2名を第一層生活支援コーディネーターとして配置
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請受付業務 相談件数6件（うち決定件数3件）
- ・電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援金給付金申請受付業務 相談件数9件（うち決定件数5件）

○赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

○赤い羽根共同募金助成金による事業

- ・高齢者ふれあいパークゴルフ大会（7月開催 31名参加 男性19名 女性12名）
- ・要保護世帯児童修学旅行援助事業（対象者41名）
- ・ボランティア団体及び当事者団体活動助成事業
- ・老人クラブ団体活動助成事業
- ・社協だより発行（12月）



をで赤
頂はい
き多羽
まの根
しく街
たご頭
協募金
力金



用タ介
具ル護
の可保
品能險
目なで
福レ
祉ン

○歳末たすけあい運動（12月1日～12月25日）

○歳末たすけあい募金助成金による事業

- ・要保護世帯へ歳末見舞金支給（47世帯に支給）
- ・児童施設入所者へ歳末義援金支給（58名に支給）
- ・各福祉施設、団体へ歳末義援金支給（2団体に助成）
- ・歳末福祉パトロール（口取り配布）事業（586件に配布）

○その他

令和5年度岩内町社会福祉協議会事業方針

- (1) 人口減少・少子高齢化、住民生活の多様化などにより、住民が抱える生活課題も複雑・多様化する中で、公的サービスだけでは対応しきれないほど様々な問題が広がりを見せている。
- 国が掲げる地域住民の参画と協働により、誰もが支え合う共生社会を目指し、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる地域共生社会の実現に向け、本会では生活支援コーディネーター事業や有償ボランティア活動、ふれあいネットワーク活動に取り組んでいるが、引き続きその充実を図り、支援が必要な高齢者等が住み慣れたまちで生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を目指し、関係機関と連携のもと推進して参ります。
- (2) 高齢や障がいにより日常生活の判断に不安がある方を対象に行っている日常生活自立支援事業は、相談件数等は増えていないが、まだまだ潜在する要介護者や準要介護者は多くいるものと推測され、今後、利用者が増加することも見込まれますので、支援員の確保を図るなど適正に実施できるよう努めて参ります。
- また、成年後見制度の利用の促進に関する法律により、それぞれの市町村において成年後見の中核機関や地域連携ネットワーク等の体制整備が求められていることから、「生活支援コーディネーター業務」において、岩内町における利用ニーズやその必要性等について設置に向けた裏付け調査を行い、早期の設置を目指して町と協議を進めて参ります。
- (3) 有償ボランティア活動は、公的なサービスでは対応できない除雪や草刈り、ごみ出し、外出支援など日常生活上の困りごとにに対し幅広い支援活動を実施し多くの利用者に喜ばれております。
- その活動は広く認知されておりますが、協力会員の確保、増強が課題であります。
- これまでの地道な周知活動により新規協力会員も数名あり一定の効果はあったものの充足されてはいることから、今後も町広報誌や防災無線、口コミでの声かけ等、地道な周知活動を継続するとともにボランティア団体との連携を図り、無理なく幅広い支援活動に対応できる体制づくりにも努めて参ります。
- (4) 一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯の増加等に伴い、全国的にも孤立死や消費者被害、詐欺、虐待、老老介護を背景とする痛ましい事件等も後を絶たず問題となっております。
- これらを未然に防止あるいは早期に発見し問題解決につなげるためには、普段からの関わりによる気づきが重要であります。
- そのため、これまで同様、町内会等の小地域を基盤として見守り活動や援助活動などが提供できる体制（ふれあいネットワーク活動）づくりを引き続き推進し、高齢者や障がいを持つ方などが安心して暮らしていける地域づくりを目指して参ります。
- (5) 介護保険事業については、令和4年度は利用者の減少や訪問介護事業における報酬算定方法の見直し等による減収があったが、介護記録のICT導入による業務効率化、確実な情報共有化等に努め、それにより、質の高いサービスを提供する事業所を評価する特定事業所加算を新規取得し減収幅の圧縮を図ることができました。
- 今年度も適正な人員配置や労務管理に努めるとともに、安心・安全にご利用いただけるよう引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めサービスを提供して参ります。
- また、介護人材の不足が近年の大きな課題であり、人材の流出防止や新たな人材の確保を図るため、処遇の向上を図ることが必要不可欠であります。
- 特に、各事業において中核を担う職種については早期にその改善を図り、安定して事業が継続できるよう努めて参ります。
- (6) 在宅サービスを提供する者として利用者個々の相違を的確に見極め、適切な支援ができるよう努めるとともに、町をはじめ福祉関係機関等との連携を密にし、問題の早期発見、ニーズの明確化に努め、効果的な事業運営を推進して参ります。
- (7) 会計業務については、内部監査や外部監査の実施により今後も継続的に適正に実施されるよう努めて参ります。
- (8) 社協の広報活動については、社協だよりの発行とともに、ホームページ等により事業活動のお知らせなど随時、効果的に発信し周知活動に努めて参ります。
- (9) 今日の厳しい社会、経済状況を反映して、社協会費や寄附金なども減少傾向にありますが、出来る限り自己財源の確保に努めるとともに、職員資質向上に向けて積極的に研修会等へ参加し、社協基盤の充実強化を図り、各種事業が円滑に運営出来るよう努力して参ります。

令和5年度岩内町社会福祉協議会収支予算

単位：千円

資 金 収 入 の 部				資 金 支 出 の 部			
科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	科 目	本年度予算	前年度予算	増 減
会 費 収 入	1,800	2,000	△ 200	人 件 費 支 出	116,149	113,219	2,930
寄 附 金 収 入	500	500	0	事 業 費 支 出	30,405	28,455	1,950
経常経費補助金収入	17,906	15,050	2,856	事 務 費 支 出	13,378	13,247	131
受 託 金 収 入	70,651	67,701	2,950	貸 付 事 業 支 出	800	900	△ 100
貸 付 事 業 収 入	599	799	△ 200	共同募金配分金事業費	1,392	1,490	△ 98
事 業 収 入	210	200	10	助 成 金 支 出	534	534	0
福祉有償運送事業収入	240	265	△ 25	負 担 金 支 出	377	380	△ 3
負 担 金 収 入	300	300	0	積 立 資 産 支 出	2,908	3,064	△ 156
介護保険事業収入	67,180	66,620	560	事業区分間繰入金支出	0	1,600	△ 1,600
障害福祉サービス等事業収入	1,800	1,800	0	拠点区分間繰入金支出	4,791	4,257	534
受取利息配当金収入	2	2	0	サービス区分間繰入金支出	3,807	4,655	△ 848
そ の 他 の 収 入	1,010	1,020	△ 10				
積立資産取崩収入	3,000	3,000	0				
事業区分間繰入金収入	0	1,600	△ 1,600				
拠点区分間繰入金収入	4,791	4,257	534				
サービス区分間繰入金収入	3,807	4,655	△ 848				
当 期 収 入 額 計	173,796	169,769	4,027	当 期 支 出 額 計	174,541	171,801	2,740
前期末支払資金残高	12,770	13,590	△ 820	予 備 費	12,025	11,558	467
収 入 合 計	186,566	183,359	3,207	支 出 合 計	186,566	183,359	3,207

各社会福祉大会における功労者表彰

9月5日に開催された第70回北海道社会福祉大会において、万代地区の民生委員である遠藤まり子氏が、20年の永きにわたり地域住民の生活の安定と行政の推進に寄与された功績が認められ、北海道知事表彰として「北海道社会貢献賞（民生委員・児童委員）」を受賞されました。この他、今年6月まで本会の監事であった野崎幸博氏が15年の永きにわたり社会福祉の増進に寄与された功績が認められ「社会福祉協議会役員功労者」として、また、万代地区の民生委員である田澤慶明氏も、15年の永きにわたり地域住民の生活の安定と行政の推進に寄与された功績が認められ、「民生委員・児童委員功労者」としてそれぞれ北海道社会福祉協議会々長表彰を受賞されました。

更に、翌日の6日には古平町で開催された第75回小樽・後志地区社会福祉大会において小樽・後志社会福祉協議会連絡協議会々長表彰の式典が執り行われ、福祉の増進に寄与された功績が認められ、「民生委員・児童委員功労者」として相生地区の山口薫氏が十年の永きにわたり社会福祉の増進に寄与された功績が認められ被表彰者を代表して登壇し受賞されました。

なお、本大会においては、岩内町民生委員協議会から11名が参加。式典後には、「古平町の記憶遺産を掘り起こし活用する」と題して、古平町地域おこし協力隊（魅力発掘推進員）で札幌大谷大学教授でもある森雅人氏の講演が行われ、参加者は大学教授と地域おこし協力隊の2つの視点から古平町の魅力をどのようにして発信しているかについての講演を熱心に学ばれておりました。

受賞された皆様本当におめでとうございます。



小樽・後志地区社会福祉大会式典にて表彰された山口民生委員

とっても優しい地域の支え合い 有償ボランティア活動『たすけて』に参加を！

除雪や草刈り、日曜大工、畑起こし、ゴミ出しなどでお困りの高齢世帯、障害世帯を対象とした日常生活支援を実施しています。

支援ボランティア1名につき1時間以内で、1回500円を基本とした地域の支え合い活動です。

「困っている人がいるなら、自分の力と知恵や時間を役立てても良い」という協力者が不足しています。

年齢制限はありませんしできる範囲で結構なので、住み慣れた岩内町でいつまでも自立して元気で、楽しく暮らすことのできる地域の実現のために、是非とも参加をお願いします。



お問い合わせ先
岩内町ボランティアセンター
☎62-3328

歳末たすけあい運動及び赤い羽根共同募金へのご協力をお願い致します!!

例年同様12月1日から歳末たすけあい運動が全国一斉に始まります。

岩内町では毎年、法人、商店、町内会等に募金の依頼文章を送付しており、この運動で集まったお金は、下に記載している歳末見舞金交付事業をはじめとする各種事業を展開し岩内町の福祉事業に充てております。

また赤い羽根共同募金運動においても毎年10月1日より全国一斉に行われ、皆さまより頂いた募金は今回表紙でも紹介した事業をはじめ、事業報告でも紹介したとおり高齢者、児童・青少年、住民全般・課題を抱える人を対象とした福祉活動事業に使われております。

今年度においても皆様からのご理解を頂き募金のご協力の方をお願いいたします。



令和4年度 共同募金実績

昨年度の共同募金は

戸別募金	598千円
街頭募金	20千円
職域募金	54千円
その他	544千円
計	1,216千円

併せて1,216千円と多くの方々よりご協力をいただきました。ご厚志に感謝申し上げます。

なお岩内町社協へは455千円が助成され、貴重な財源として児童福祉、老人福祉、ボランティア活動に使われております。

令和4年度 歳末たすけあい実績

収入	137件	1,031,697円
前年度繰越金		436,729円
助成内訳		
低所得高齢者世帯	47件	235,000円
児童施設入所者	58件	116,000円
施設・団体配分	2件	60,000円
歳末福祉パトロール	586件	322,300円
計		733,300円

歳末見舞金交付のお知らせ

岩内町社会福祉協議会では、次の低所得世帯に対し少しでも温かいお正月を迎えることができるよう、歳末たすけあい募金を財源として「歳末見舞金」を交付いたします。

(交付予定額 1世帯あたり5,000円)

※歳末たすけあい募金実績により交付金額が変動する場合があります。

- 【対象世帯】
- ①75歳以上の単身世帯
 - ②その他75歳以上の方のみで構成される世帯
 - ★令和5年度の町民税が非課税世帯であること。
 - ★令和4年中の収入が、単身世帯で106万円以下、複数世帯で157万円以下であること。
 - ※年齢は数え年（昭和24年12月31日以前に生まれた方）
 - ※生活保護受給世帯及び入院中、施設入所中の方は対象外となります。
 - ※住民票上世帯分離していても、同じ家に住んでいる場合は同居とみなします。

【申込み方法】

- 申請窓口 岩内町社会福祉協議会または地区の民生委員。
社協まで申請に来られない方は、地区の民生委員までご連絡下さい。
- 必要なもの 印鑑、遺族年金または障害年金を受給されている方は、受給額がわかるもの
- しめきり 令和5年12月13日(水)まで
- お問い合わせ 社会福祉法人岩内町社会福祉協議会
岩内町字清住167番地(岩内町老人福祉センター内)
電話 62-3328 FAX 62-3859

急 募 !!

ホームヘルパー及びケアマネジャーを募集しています!

全国的にも団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え介護職員の人材不足が大きな社会問題となっていますが、岩内町社協でもすでに人員不足によりサービス提供が停滞しかねない状態であります。

資格をお持ちの方々、どうか町民の福祉向上に力をお貸しください。

また、給食配送サービスの調理員も急募していますので、詳しくはハローワーク等の求人情報でご確認いただくか直接社協（電話 62-3328）までお気軽にお問い合わせください。

